

2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月14日

上場会社名 and factory 株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7035 URL https://andfactory.co.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 青木 倫治
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 蓮見 朋樹（TEL）03-6712-7646
 半期報告書提出予定日 2025年4月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年8月期中間期	1,581	—	△122	—	△122	—	△152	—
2024年8月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2025年8月期中間期 △147百万円（ —％） 2024年8月期中間期 —百万円（ —％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	△13.52	—
2024年8月期中間期	—	—

（注）1. 2025年8月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

2. 当社は、2025年8月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年8月期中間期の数値及び対前年中間期増減率並びに2025年8月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年8月期中間期	2,236	1,061	47.4
2024年8月期	—	—	—

（参考）自己資本 2025年8月期中間期 1,061百万円 2024年8月期 —百万円

（注）当社は、2025年8月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年8月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	0.00			
2025年8月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,200	—	△310	—	△310	—	△380	—	△33.74

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

（注）2. 業績予想の修正については、本日（2025年4月14日）公表いたしました「2025年8月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

（注）3. 当社は、2025年8月期第1四半期より連結決算に移行しました。2024年8月期は連結決算を行っていないため、「対前期増減率」については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社サウスワークス、除外 1社(社名) -
(注) 詳細は、添付資料11ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料11ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注) 詳細は、添付資料11ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)				
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年8月期中間期	11,261,970株	2024年8月期	11,261,970株
② 期末自己株式数	2025年8月期中間期	277株	2024年8月期	257株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年8月期中間期	11,261,698株	2024年8月期中間期	11,261,713株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(連結範囲の重要な変更)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更に関する注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 経営成績等の概況

当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループの主要な事業領域である電子書籍市場については、2022年度の市場規模は6,026億円であり、そのうちコミックが占める割合は86.3%、2023年度の市場規模は6,449億円と前年度から7.0%増加し、そのうちコミックが占める割合も87.6%の5,647億円と市場全体としては伸びていますが、成長率は2022年度に続いて2023年度も一桁%となり、市場は成熟期に移行しているといえます。

また、2024年度の成長率は5%程度となるとみられ、今後も緩やかに拡大基調で、2028年度までの年平均成長率は4.5%、市場規模は8,000億円程度になると予測されます。(インプレス総合研究所の「電子書籍ビジネス調査報告書2024」より)

このような環境の中、当社グループは、「日常に&を届ける」をミッションとして掲げ、中核事業となるAPP事業において、主に大手出版社と共同開発したスマートフォン向けのマンガアプリの収益拡大に注力してまいりました。

当中間連結会計期間においては、APP事業の主力事業であるマンガ事業では、2024年10月にデジタルカタパルト株式会社から事業譲受した電子書籍ストア「ソク読み」のサービス開始により課金売上が増加した一方、既存サービスにおいては人気作品が完結したことによる連載終了が大きく影響し課金売上が減少しました。なお、エンタメ事業では古い事業が好調に推移し売上高が伸長したものの、APP事業全体で売上高及び営業利益ともに前年同期を下回って着地となりました。

RET事業においては、円安の影響により外国籍の宿泊者数が好調に推移しており「&AND HOSTEL」の稼働率は引き続き高水準を維持し宿泊売上は堅調に推移しました。また、不動産アドバイザー報酬および宿泊物件の売買仲介手数料による売上を収受しました。一方で前中間会計期間に「&AND HOSTEL」の開発用に購入し保有していた物件を売却しており、売上高はその影響により前年同期を大きく下回りました。ただし、売却に伴う評価損により営業損失を計上していたため、当中間連結会計期間は利益に転じ、営業利益は前年同期を大きく上回って着地いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は1,581,589千円、営業損失122,753千円、経常損失122,976千円、親会社株主に帰属する中間純損失152,208千円となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① APP事業

当中間連結会計期間において、新規連結した株式会社サウスワークス、事業譲受した「ソク読み」課金売上、占い事業の「星ひとみの占い」「uraraca電話占い」がAPP事業の売上増加に寄与しました。

一方で、現在運営しているマンガアプリ及びWEBサービスについて、人気作品が完結したことによる連載終了が大きく影響し課金売上およびMAU(注1)が減少しました。また、広告リワードの鈍化及びアドネットワークの配信単価の減少により、広告ARPU(注2)も下降傾向となり広告収益は全体的に減少となりました。

この結果、当中間連結会計期間におけるAPP事業の売上高は1,506,786千円、セグメント利益は36,887千円となりました。

(注) 1. Monthly Active Userの略称であり、1ヶ月に一度でもアプリを利用したユーザーの数を指します。

2. Average Revenue Per Userの略称であり、ユーザー一人当たりの収益単価であります。

当社のAPP事業において運営するスマートフォンアプリのうち、「マンガアプリ」の四半期毎の平均MAU数の推移は下表のとおりであります。

(単位：万人)

年月	平均MAU数	年月	平均MAU数
2017年5月末	31	2021年5月末	1,056
2017年8月末	65	2021年8月末	1,101
2017年11月末	108	2021年11月末	1,046
2018年2月末	150	2022年2月末	1,044
2018年5月末	204	2022年5月末	1,121
2018年8月末	238	2022年8月末	1,152
2018年11月末	279	2022年11月末	1,129
2019年2月末	362	2023年2月末	1,105
2019年5月末	430	2023年5月末	1,140
2019年8月末	532	2023年8月末	1,161
2019年11月末	641	2023年11月末	1,126
2020年2月末	720	2024年2月末	972
2020年5月末	906	2024年5月末	971
2020年8月末	994	2024年8月末	943
2020年11月末	1,026	2024年11月末	905
2021年2月末	1,054	2025年2月末	899

(注) 上記の平均MAU数は、各四半期における平均値を記載しております。

② RET事業

当中間連結会計期間において、円安の影響により外国籍の宿泊者数が好調に推移しており「&AND HOSTEL」の稼働率は引き続き高水準を維持し宿泊売上は堅調に推移しました。また、不動産アドバイザー報酬および宿泊物件の売買仲介手数料による売上を収受しました。

一方で前中間会計期間に「&AND HOSTEL」の開発用に購入し保有していた物件を売却しており、売上高はその影響により前年同期を大きく下回りました。ただし、売却に伴う評価損により営業損失を計上していたため、当中間連結会計期間は利益に転じ、営業利益は前年同期を大きく上回って着地いたしました。

この結果、当中間連結会計期間におけるRET事業の売上高は66,403千円、セグメント利益は21,110千円となりました。

③ その他事業

主にマンガのIPを広告等に活用する事業を実施しております。

当中間連結会計期間におけるその他事業の売上高は8,400千円、セグメント損失は7,824千円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は2,236,979千円となりました。主な内訳は、現金及び預金1,077,609千円、売掛金528,465千円、立替金169,488千円であります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は1,175,753千円となりました。主な内訳は、未払金487,570千円、買掛金170,910千円、短期借入金115,000千円であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は1,061,226千円となりました。主な内訳は、資本金801,818千円、資本剰余金800,460千円、利益剰余金△544,308千円であります。

なお、自己資本比率は47.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、1,077,609千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、271,315千円となりました。これは主に売上債権の減少額108,299千円による増加があった一方で、税金等調整前中間純損失150,262千円、未払消費税等の減少額183,405千円による減少があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、119,976千円となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出28,161千円があった一方で、貸付金の回収による収入10,000千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、94,958千円となりました。これは長期借入金の返済による支出59,953千円、短期借入金の返済による支出35,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月15日に公表した通期業績予想の数値を修正しております。詳細につきましては、本日（2025年4月14日）公表の「2025年8月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,077,609
売掛金	528,465
仕掛品	53,785
立替金	169,488
未収消費税等	50,517
その他	137,045
貸倒引当金	△33,195
流動資産合計	1,983,716
固定資産	
有形固定資産	
建物	21,522
工具、器具及び備品	88,397
減価償却累計額	△66,656
有形固定資産合計	43,262
無形固定資産	
ソフトウェア	28,775
ソフトウェア仮勘定	166
のれん	43,742
無形固定資産合計	72,684
投資その他の資産	
投資有価証券	46,582
長期貸付金	30,000
敷金及び保証金	53,957
その他	6,776
投資その他の資産合計	137,315
固定資産合計	253,262
資産合計	2,236,979
負債の部	
流動負債	
買掛金	170,910
短期借入金	115,000
1年内返済予定の長期借入金	46,723
未払金	487,570
未払法人税等	8,149
賞与引当金	423
その他	93,024
流動負債合計	921,801
固定負債	
長期借入金	252,277
繰延税金負債	1,674
固定負債合計	253,951
負債合計	1,175,753

(単位：千円)

当中間連結会計期間 (2025年2月28日)	
純資産の部	
株主資本	
資本金	801,818
資本剰余金	800,460
利益剰余金	△544,308
自己株式	△578
株主資本合計	1,057,391
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	3,795
その他の包括利益累計額合計	3,795
新株予約権	1,034
非支配株主持分	△995
純資産合計	1,061,226
負債純資産合計	2,236,979

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	1,581,589
売上原価	858,457
売上総利益	723,131
販売費及び一般管理費	845,884
営業損失(△)	△122,753
営業外収益	
受取利息	719
補助金収入	3,368
その他	779
営業外収益合計	4,867
営業外費用	
支払利息	3,507
為替差損	1,274
その他	308
営業外費用合計	5,090
経常損失(△)	△122,976
特別利益	
受取保険金	2,712
特別利益合計	2,712
特別損失	
減損損失	5,591
固定資産除却損	22,099
投資有価証券評価損	2,307
特別損失合計	29,998
税金等調整前中間純損失(△)	△150,262
法人税等	1,291
中間純損失(△)	△151,553
非支配株主に帰属する中間純利益	655
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△152,208

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
中間純損失(△)	△151,553
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	3,795
その他の包括利益合計	3,795
中間包括利益	△147,758
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△148,413
非支配株主に係る中間包括利益	655

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)
	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純損失 (△)	△150,262
減価償却費	19,276
減損損失	5,591
固定資産除却損	22,099
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,307
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13,521
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,301
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△24,557
受取利息及び受取配当金	△719
補助金収入	△3,368
支払利息	3,507
売上債権の増減額 (△は増加)	108,299
未収入金の増減額 (△は増加)	△34,818
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△30,191
前払費用の増減額 (△は増加)	△4,574
立替金の増減額 (△は増加)	50,741
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△50,517
仕入債務の増減額 (△は減少)	54,585
未払金の増減額 (△は減少)	△54,738
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△183,405
その他	△15,263
小計	△273,789
利息及び配当金の受取額	719
利息の支払額	△3,904
補助金の受取額	2,769
法人税等の支払額	△5,268
法人税等の還付額	8,158
営業活動によるキャッシュ・フロー	△271,315

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△26,681
無形固定資産の取得による支出	△28,161
敷金及び保証金の差入による支出	△13,696
敷金及び保証金の回収による収入	97
投資有価証券の取得による支出	△20,000
事業譲受による支出	△6,100
貸付けによる支出	△30,000
貸付金の回収による収入	10,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△5,445
その他	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△119,976
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△35,000
長期借入金の返済による支出	△59,953
自己株式の取得による支出	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,958
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△486,250
現金及び現金同等物の期首残高	1,563,860
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,077,609

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間の期首において、株式会社サウスワークスの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を、当中間連結会計期間の期首から適用しております。これによる中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当中間連結会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	APP事業	RET事業	計		
売上高					
マンガ	1,011,677	—	1,011,677	—	1,011,677
占い	436,042	—	436,042	—	436,042
&AND HOSTEL	—	19,428	19,428	—	19,428
不動産関連	—	46,948	46,948	—	46,948
その他	59,066	—	59,066	8,400	67,466
顧客との契約から生じる収益	1,506,786	66,376	1,573,162	8,400	1,581,562
その他収益	—	26	26	—	26
外部顧客への売上高	1,506,786	66,403	1,573,189	8,400	1,581,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,506,786	66,403	1,573,189	8,400	1,581,589
セグメント利益又は損失(△)	36,887	21,110	57,998	△7,824	50,174

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にマンガのIPを広告等に活用する事業であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	1,573,189
「その他」の区分の売上高	8,400
中間連結損益計算書の売上高	1,581,589

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	57,998
「その他」の区分の損失(△)	△7,824
全社費用(注)	△172,927
中間連結損益計算書の営業損失(△)	△122,753

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する情報

当社は、株式会社サウスワークスの株式を取得し、同社を新たに連結の範囲に含め、「APP事業」の報告セグメントに追加しております。

なお、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前中間連結会計期間に係るセグメント情報は記載しておりません。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「APP事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は5,591千円です。

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、株式会社サウスワークスの株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「APP事業」において、のれんが43,742千円増加しております。